

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
令和6年度(2024年度)第1回短期大学会議教育改革 ICT 運営委員会と  
コンソーシアム参加校との打ち合わせ議事録

- I. 日時 令和6年4月26日(金)18:00~20:00  
場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 後藤委員、大重委員、西岡委員、治京委員、及川委員、三田委員  
衛藤先生(別府大学短期大学部)、岩田先生(中村学園大学短期大学部)、  
深町先生(和泉短期大学)  
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

1. 地域貢献支援事業の具体化計画について

① 高齢者支援事業

- \* 山野美容芸術短期大学と実践女子大学国際部と連携し、生成 AI を使用したカルタ作りの充実を目指す。海外でも使えるように「読み札」を英語化する他、地域のデパートと連携して商品化を考えている。
- \* 前期と後期の2回を予定している。前期は5月~7月、後期は9月~12月、令和7年1月に完成を目指すとしている。
- \* 5月に希望学生を募集し、学生と検討を始め自治体とも連携する企画を計画する。7月に八王子のデパートと連携し、高齢者・若手を含めた世代間交流によるカルタ大会を考える。
- \* 学生の「読み札」の製作に当たっては、高齢者にどれがよいか評価いただくなどして、学生同士で「読み札」を競わせることも考えている。

② 地域価値支援事業

- \* 「生成 AI を活用し、地元の食材を活用したレシピ(料理・お菓子)の開発や食育プログラムの取組」をテーマとする「取組案1」と、「生成 AI を使った防災食活用レシピ開発」の「取組案2」について検討した結果、調理技術や調理施設のない短大でも参加ができ、地域価値の発見につながる「生成 AI を使って郷土食に特化した防災食活用レシピの開発」に改め、参加短大間で支援事業の計画を再検討することになった。
- \* 参加短大は、別府大学短期大学部、中村学園大学短期大学部の2短大で先行するが、大阪学院大学短期大学部にも呼び掛け、3校でコンソーシアムを構成して進めることを目指すことにした。
- \* 「生成 AI を使って郷土食に特化した防災食活用レシピの開発」では、大分県、福岡県、大阪府の地域性を反映した「味に特化した防災食のレシピ」を生成 AI を利活用して考え、短大コンソーシアムで相互に意見を出し合う中で開発することにした。また、レシピを開発することで、食品ロスの削減と防災食の有効活用が図れることを考えている。

2. 今後の準備日程について

① 高齢者支援事業

5月中旬に2校による打ち合わせを行い、具体的な日程及び準備の計画を立てることにしている。

それまでの間に、2校での学生募集を行い、参加者を確定しておくことにした。

② 地域価値支援事業

当面、5月中・下旬に別府大学短期大学部、中村学園大学短期大学部による打ち合わせを行い、具体的な日程及び準備の計画を立てることにしている。また、大阪学院大学短期大学部に参加を打診し、3校体制で進めることを目指すことにした。

学生募集との兼ね合いで計画をすすめることにしており、理想としては、月に1回程度の進捗状況を報告し合い、意見のとりまとめなどを考えることにした。

3. その他(今後の委員会日程)

今回は、令和6年7月24日(水)午後6時から、高齢者支援事業と地域価値支援事業の取組状況を確認することにした。